

第2期 朝来市地域福祉計画 平成24年度～28年度 【概要版】

地域のふれあい・支えあいの中で、
安心していきいきと暮らすことができるまち



平成24年3月

朝 来 市

I. はじめに

1. 計画策定の背景と目的

平成19年2月に「朝来市地域福祉計画」（以下第1期計画）を策定し、「安心していきいきと暮らすことができるまち」を基本理念に計画を推進してきました。

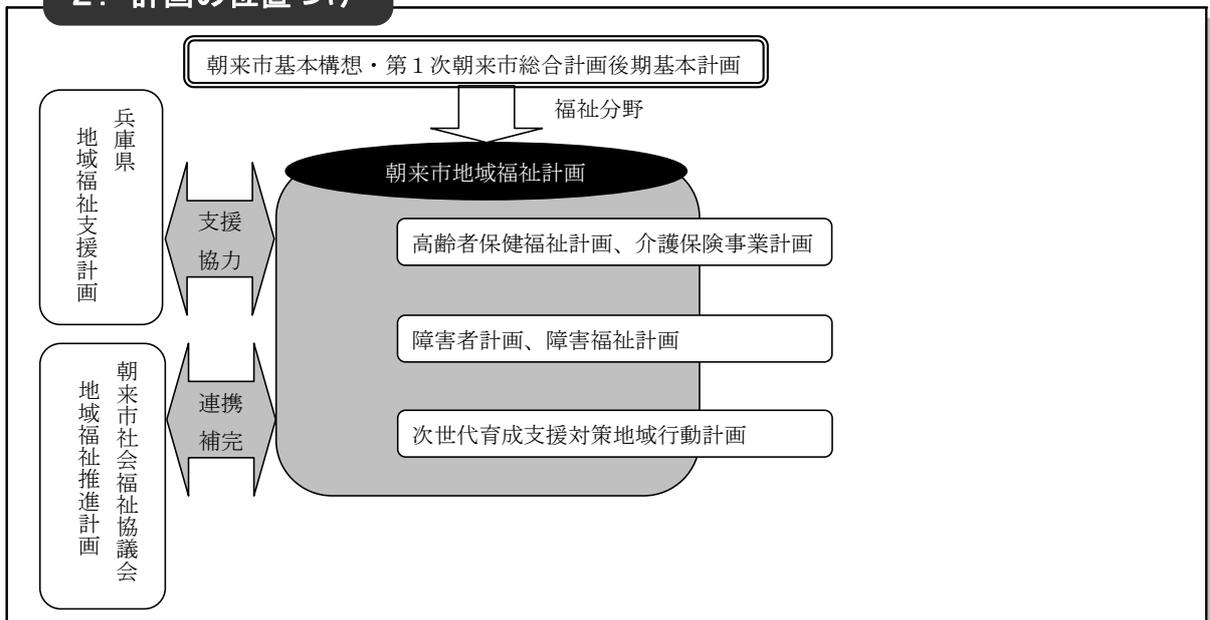
第1期計画策定以降、少子高齢化や核家族化の一層の進展、一人暮らし高齢者の増加や孤独死、児童虐待の問題、中山間地等における限界集落の増加など、**私たちを取り巻く社会環境は、大きな変化を見せています。**

また、**東日本大地震による想像をはるかに超える甚大な被害により、改めて安全で安心して暮らせる地域づくりの重要性を認識させられました。**

このため、「**第2期朝来市地域福祉計画**」（以下第2期計画）は、これまでの社会情勢や地域福祉を取り巻く環境の変化に対応するとともに、他の福祉**関連**計画との整合や第1期計画の**取組**の成果並びに**残された**課題を整理し、今後5年間（平成24年度～28年度）の地域福祉の方向性を示すものとして改定を行うこととしました。

「**第2期計画**」によって、今後も行政と地域がさらに一体となって地域福祉を一層推進し、地域全体での**支え合い**や**助け合い**により、みんなが安全で安心して暮らすことができるまちを目指していきます。

2. 計画の位置づけ



3. 計画の策定体制

本計画の策定にあたっては、公共的団体の代表や公募委員、行政機関等で構成される「朝来市地域福祉計画策定委員会」を設置し、内容等の協議を行いました。

また、関係団体を対象とした意向調査や**作業部会**等を実施し、本市における福祉課題の把握及び課題の解決に向け、分析を行いました。

Ⅱ. 計画の基本方向

私たちのまち朝来市における地域福祉計画は、地域住民の「気持ち」を「繋ぐ（つなぐ）」精神的な支柱となる地域福祉活動を目標に、『気繋（きづな）：絆』を育むための基本的な活動に重点を置き、こころの福祉により、安心と安堵の暮らしを構築するための基盤づくりを目指します。



◆朝来市地域福祉基本理念

地域のふれあい・支えあいの中で、
安心していきいきと暮らすことができるまち

〔 施策の方向 〕

基本目標1

地域福祉への理解と参加

- (1)啓発・広報活動の推進
- (2)福祉学習の推進
- (3)地域福祉を担う人材の発掘と育成

基本目標2

サービスの利用と活動の展開

- (1)情報を届ける仕組みの充実
- (2)相談体制の充実
- (3)福祉サービス等の基盤整備と質の向上
- (4)福祉サービス利用者の権利擁護
- (5)ケアマネジメントの充実

基本目標3

地域での支えあい活動

- (1)要支援者の把握と支援体制の整備
- (2)ボランティア活動の推進
- (3)各種団体等の活動支援
- (4)交流活動の推進
- (5)制度のはざまにいる人への支援

基本目標4

地域福祉社会形成の基盤強化

- (1)福祉課題を話し合う場づくり
- (2)公共施設の有効利用・充実
- (3)地域医療体制の充実
- (4)保健・医療・介護・福祉の連携強化
- (5)（仮称）地域福祉推進協議会との連携強化・支援

基本目標5

安心して暮らせる地域づくり

- (1)外出・移動支援の充実
- (2)災害時や緊急時の支援体制の充実
（災害時要援護者支援体制の強化）
- (3)防犯活動の推進

Ⅲ. 計画の推進に向けて

私たち市民一人ひとりが地域のことに関心をもち、地域福祉の活動に積極的に参加していくことはもちろんですが、計画の策定に参加した団体をはじめ、地域で活動している各種団体、そして行政が、計画の中に盛り込まれた「推進方向」及び「推進に向けた役割分担」を踏まえて、地域福祉の推進に積極的にかかわることが求められています。



～ 市民一人ひとりの支えあい活動で、『気繋（きづな）：絆』を育みましょう ～

朝来市地域福祉計画 概要版
発行：平成 24 年 3 月
編集：朝来市 健康福祉部 社会福祉課
〒669-5292
兵庫県朝来市和田山町東谷 213 番地 1
TEL：079-672-6123
FAX：079-670-2057